



令和8年8月5日

福岡県内経済情勢報告

令和8年8月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

電話 092-411-9038

福岡県内経済情勢報告

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下 7 月下旬の状況までを含めた期間（令和 8 年熊本地震発生前）で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回比較
個人消費	回復のテンポが緩やかになっている	緩やかに回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
設備投資	7 年度は増加見込み	8 年度は減少見込み	
企業収益	7 年度は増益見込み	8 年度は減益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。なお、令和 8 年熊本地震の影響については今後十分に把握していく必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店販売は、国内外のラグジュアリー需要が好調なことから、前年を上回っている。スーパー販売は、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりがみられるものの、価格転嫁の浸透もあり前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、値上げ効果等により前年を上回っている。乗用車販売は、車両購入時にかかる自動車税環境性能割の廃止もある中、軽乗用車は前年を下回っているものの、普通車、小型車は前年を上回り、全体としては前年を上回っている。ドラッグストア販売は、食料品が好調のほか、新規出店の効果もあり前年を上回っている。家電大型専門店販売は、前年を上回っている。ホームセンター販売は、前年を上回っている。宿泊は、堅調な需要に支えられ、おおむね横ばいとなっている。

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械の自動車は、昨年度と同様の生産水準で、横ばい圏内で推移している。はん用・生産用機械は、底堅い自動化・省力化等に向けた投資需要により、緩やかに持ち直している。電子部品・デバイスは、一部で需要の回復がみられるなど、緩やかに持ち直している。鉄鋼は、建築資材の需要等が伸び悩んでおり、横ばい圏内で推移している。

■ 雇用情勢 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

有効求人倍率は、おおむね横ばいとなっているものの、足下では低下している。新規求人数は、前年を下回る状態が続いている。企業の人手不足感は続いている。

■ 設備投資 「8 年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

8 年度は、製造業は前年比 5.0%の減少見込み、非製造業は同 0.9%の減少見込みとなっており、全産業では同 1.9%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「8 年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

8 年度は、製造業は前年比 9.8%の減益見込み、非製造業は同 4.0%の減益見込みとなっており、全産業では同 5.5%の減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲住宅及び給与住宅が増加していることから前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出（円ベース）は、前年を上回っている。なお、輸入（円ベース）は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査（8 年 4-6 月期）の景況判断 BSI でみると、8 年 4-6 月期は「下降」超となっている。先行きについては、8 年 7-9 月期は「下降」超の見通しとなっている。